

共用試験OSCE

平成18年3月11日（土曜日）に共用試験OSCEが本学で実施されました。4学年次の諸君においては、昨年9月に医療面接と身体診察の実習を集中的に行っています。また11月～12月にかけて身体診察の補習も行いました。さらに、2月末の直前にも、復習を兼ねて実習を行いました。さて本番の試験ではいかがだったでしょうか？

昨年と比較して身だしなみがよくなりました。昨年は、禁止されているはずの茶髪やスニーカー、ジーパン、化粧などの指導を無視した学生が多数存在しましたが、今年は皆無でした。それもそのはず、評価者の先生には、身だしなみが悪いだけでも零点をつけていただくようお願いしましたし、学生さんには、それだけで不合格になることを十分説明しました。来年も同じです。

さて、2月の直前の復習時には、NHK名古屋の方が、医療面接の実習の取材のために来学しました。28日午後、3月1日午前中、午後の長時間に渡ってビデオ撮影が行われました。そして、3月8日（水）夕方と13日（月）の朝7時30分に、それぞれ名古屋地区と東海地区に放映され、医療面接の難しさと模擬患者さんの重要性が強調されていました。長時間に亘り撮影が行われましたが、わずか5分間にまとめられていてすこし残念な気がしました。このVTRは、近日中に医学教育センターのホームページに掲載します。



実習中にはグループ間でも差がありました。熱心に友達のよい点、悪い点を指摘しあうグループと「大変上手でした」しゃんしゃんと終了してしまっているグループを比べると、明らかに前者のグループの学生は、上手になっていました。友達同士が意見を言えるように日ごろから交流しておくこと、友達の意見に耳を傾けることが大切です。

実習前の取材（NHK）の様子



教育施設の利用状況

平成17年10月にスキルス・ラボが開設してから、5学年次BSL（臨床実習）及び臨床研修医師のスキルアップの場として広く利用されています。しかし、学生が実習以外の場で自主的に利用したい場合に気軽に利用することができる環境が十分に整っているとは言えないため、今後これを整備していかなければなりません。



導尿トレーナー（リアルな括約筋を備えた導尿トレーニングが可能）



網膜症検査トレーナー（眼底診察、眼底鏡使用のハズオントレーニング用）

今後の愛知医大の課題

2年間でできたこと

- 1) 卒業試験のシステム改善：作成問題のブラッシュアップ、不相当問題の評価
- 2) クリニカル・クラークシップの導入
- 3) BSLのカリキュラムの目標設定と整備
- 4) 共用試験対策
- 5) 医療面接カリキュラム：模擬患者会の充実
- 6) ジャーナルクラブ（医学英語教育）
- 7) PBLチュートリアル
- 8) スキルス・ラボの立ち上げ
- 9) 医学教育センターのホームページ作成



2年間でできなかったこと

- 1) 医学教育センター専任教員の決定
- 2) 統合講義の内容・調整
- 3) 身体診察カリキュラム
- 4) スキルス・ラボの救急部門



愛知医大の医学教育改革は、全国の最後方からようやく真ん中くらいまで追いつけてきました。今後は、姉妹校の南イリノイ大学と情報を交換して、アメリカのよい点を愛知医大流に修正して取り入れることによって、さらに充実したものになっていくことでしょう。2年間ご支援ありがとうございました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。